

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援センター つぼみ				公表日 2026年 2月 16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 職員が多く空間に余裕が無い時がある。児童も職員に対して少ない場合は廊下ではなく部屋を用意した方が良いと思う。 活動内容や人数に応じて部屋を調整している 	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア児等、新しい利用児さんも増えたので、部屋の割り振りもさらに工夫が必要。流動的な時もあるが上手く回していると感じる。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 利用児の数は毎日変動するが割り振って配置出来ている。 人員配置は出来ている 時々厳しい場面もあるが適切に分けられている 職員が足りない時は、子どもの活動を一緒にするなどしている 	<ul style="list-style-type: none"> 職員配置数は多く配置しているが、利用児も増え、マンツーマン対応の子どもも増えている。それが対応を学んでいくことでより支援が充実していく
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	2	<ul style="list-style-type: none"> 以前よりわかりやすくなっている。視覚優位の児童に対してより分かりやすく表示ツールとしてあっても良いと思う。 部屋に名前があり分かりやすくなっている 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の構造上1階と2階行き来が不可欠で、医療的ケア児も増えていくので対応を考えていか必要がある
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	2	<ul style="list-style-type: none"> 毎日清掃をしている。 危険が無く過ごせるように各部屋になっている 毎日の清掃によって清潔な環境が整えられている 何かあれば改善している 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関、階段等。ランチルームは特に清潔であるとよいが中々、掃除が行き届かず残念に思う。 生活空間は清潔。活動に応じて部屋の割り振りが難しい時がある。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 児童の状況に応じて部屋移動や分かれて個別に対応できている。 パニックになった時など落ち着く部屋がある 	<ul style="list-style-type: none"> 状況によってスヌーズレン室など咄嗟の対応が必要
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> 会議等で目標の振り返りを行っている。 全体会議を行い振り返りが出来ている。共通理解を深めていくとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議での目標を振り返り回覧等で全職員が確認できるようにしているが、今年度からはクラス毎の会議も行っているので、そこで振り返りをすることも出てくる
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 日々の意見を受け入れやすい環境が作られている 全大会議や各クラス会議。回覧板などで把握できている 毎年、保護者向けの評価表を実施し回覧している 	<ul style="list-style-type: none"> 評価表は会議で確認し業務内改善につなげるよう話合った後でHP等で発信している
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> 内容は改善に向けたもので、意見や要望にて実践できている。 職員向けの評価表で業務改善に繋げている 今年度から、月に1回クラス毎に会議があり、よかったです。 職員会議で全員で話し合う会議を月に1度している 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価表を会議で確認し業務改善に繋がるように話し合っている 毎月クラス別会議があり、そこで職員の意見を把握して業務改善に努めている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に指導監査がはいっている 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、指導監査があり、その結果を業務改善につなげている
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、職員研修をしている。各研修会等にも参加できることが多く、機会は確保されている 研修に参加している。毎月職員研修を行っている 毎月職員研修を全員で話合う。月1回クラス会議をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会に行っている。パートの先生も希望があれば時間帯などを考慮して研修会の機会があるので考えてほしい。 	
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> 適切に作成、公表できている 	<ul style="list-style-type: none"> 支援プログラムの公表はしている。定期的に見直しをしていきたい 	

	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	13	0	・アセスメントをしっかりと行って、子どものや保護者のニーズをしっかりと把握して作成している。 ・特性等をふまえて制作されている	・保護者へのアセスメントと実際に子どもを確認することでしっかりとニーズや課題を分析して、支援計画を作成している。
	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	13	0	・会議をして児童発達支援計画を作成している。 ・共通理解の下で、検討、共通支援は以前より最善におこなえている	・支援計画を作成するときには、会議を通して検討し支援に対して共通理解した上で作成している
	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	11	2	・視覚支援など、現状のままで終ってしまう所もある。計画に沿った支援に近づけるよう実践しなければと思う。 ・職員が観覧できるように支援計画があり、いつでも目を通すことができる。	・視覚支援など、現状のままで終ってしまう所もある。計画に沿った支援に近づけるよう実践しなければと思う。
	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	9	3	・アセスメント表や毎日の記録等、子どもの状況を見る時には使用して確認している。	・一人ひとりの子どもにとって支援課題を評価し発達を促す取り組みは共通支援理解の元にすべきである感じる。個々の支援方法はと思う。
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	13	0	・本人支援では5領域や家族支援、移行支援などニーズ等と照らし合わせて設定されている。	・本人支援、家族支援等、本人や保護者のニーズに沿って具体的に設定している。それぞれの職員が専門性を高めることでねらいにより効果的な支援もできるようになる
適切な支援の提供	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17	13	0	・各クラスで行いパートは立ち会っていない ・会議で行うこともある。 ・担当保育士がしている	・今は担当保育士が行う事が多いため、クラス別会議などで活動プログラムの立案をする事もできるので話しあってほしい
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	12	1	・担当職員が固定化しないように工夫している	・現在も玄関壁面への制作活動や療育活動が固定化されている感もある。指先の活動等、道具も作っているので使用して欲しいと感じる場面がある。
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	19	13	0	・療育では一人ひとりの特性や弱い部分を把握して行っているで良い ・子どもの状況によって対応している	・子どもの人数も増え、マンツーマン対応の子どもも増えていくのでしっかりと対応して支援することが必要
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	12	1	・朝の打合せの中で全体の、クラス毎に今日の流れ等を確認している。 ・クラス毎に行えている ・打合せと違う場面でも連携しながら出来ている ・前日に打合せをしている ・前日と朝打合せをしている。	・朝の打合せ、支援の開始前に職員間で打合せを行っている。パート先生の始業時間が児童の登園時と重なっているので詳細な打合せが難しい時もあることが課題。その都度指示や連携をしなければならないことが多い
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	21	11	2	・打合せや各クラス会議などのミーティングで支援の振り返りをしている ・クラス会議や日々の中で行っている。共有できているので良い ・その日の子どもの様子等、気が付いた点があれば職員間で共有している ・月に1回、行っている ・その都度気が付いた点や改善していくことを共有しながら話し合っている ・保育士が打合せをし、情報を共有している。	・児童が降園後の振り返りをおこなっている。子どもの降園時間とパート先生の仕事終了時間が重なっているのが課題。全体での振り返りはその時では無く後日のミーティングの時に行っている。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	22	13	0	・毎日記録を取っている ・意見交換することで気づきを持って改善に向けて支援で来ていると感じる ・その日に合った事をまとめて記入していくながら支援に繋げていけるように記録している	併用利用児も多く曜日により登園する児童も違うので、その都度児童の記録をすぐに観覧できるようにタブレットなどで確認できるようになればと感じるが資金面から難しい
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	23	13	0	・定期的なモニタリング会議で、成長やニーズに合わせた新たな目標を都度設定している。 ・振り返り、意見交換の中で見直しはで来てると思う ・定期的にモニタリングで見直しが行われている。 ・定期的にモニタリング会議を行い支援記録の見直しを行っている。	半年ごと支援内容、目標内容についてなど定期的に話し合いをしている
	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	24	13	0	・利用児の現状を理解した職員が参加している。また、担当職員が園での様子を書いて相談員に渡すようにしている。 ・相談員と児発管が行っている	児発管と相談員が参加している。見守りの人数に余裕があれば担当職員も参加して会議をしている。
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	25	13	0	・病院や幼稚園などともコミュニケーションを取っている。 ・関係機関と連携している。医療機関の情報を回覧で回している	健康診断だけでなく、医療的ケア児へのサポートなど医療機関や各機関と協力、連携して支援する体制を整えている

関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、こども園などの並行通園の利用児も多く、進学についての支援も行っている。 ・相談員を含め保育所等訪問支援等の情報の共有をしている。子どもの現状に対して十分把握したうえで相互理解を図っている。 ・モニタリング会議で共有している。何かあれば電話で担当の保育士と情報交換している。 	併行通園をしているこども達の園と共通したサポートができるようにモニタリング時や送迎時に情報交換をし、相互理解に努めるよう支援をしている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・就学時期には小学校等と利用児の事について正確に情報が伝わるように連絡を取り合っている。 ・相談員が同行支援内容等の情報交換ち相互理解を図っている ・小学校の先生に見学して様子をみてもらったりしている。 	特定相談員を通して小学校と連絡を取り合い情報交換をおこなっている。また特定相談員に児童の様子を伝え、学校とも相互理解をとっている。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・部会等の地域の様々な福祉施設が参加する会議等に参加している。 ・展示品等制作には参加している。 ・会議の時に情報交換している 	自立支援部会に参加して情報共有している。中核機能での業務を推進していき。資質向上に関する取り組みを少しずつ進めているが全部をするのは難しい
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・外部の研修に参加している。専門知識を実践でおこなえて行けるとよい ・外部講師を招いた研修なども行っている。 	専門機関の研修等には積極的に参加しているが。主に金銭面から難しい事もある。内部研修げ外部講師を呼べるようにしていきたい。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども部会に参加しているのでよい ・子ども部会への参加やペアプロ等を開催している。 ・毎月参加している 	子ども部会や自立支援部会、地域の部会などにも積極的に参加している。人が決まっていることが課題だが、時間などから難しい
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バイトや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	7	<ul style="list-style-type: none"> ・併用利用している子が多いので、交流になっているのかな?と思います。 ・毎日通園の子はない 	コロナ禍以降地域交流は殆ど無い活動する機会がないので以前のようなお正月に同事業所内で増え合いの場があると楽しいとおもう
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や登降園時に保護者と情報交換をしている ・担当保育士等、情報交換連絡を行っている ・送迎時や連絡帳でやりとりをしながら子どもの変化やサポート面など伝達している ・連絡帳や送迎時に話をしている。 	連絡帳などで普段から状況を伝えあっているが受容の段階などで、伝えた方が難しい時もあるので。保護者への伝え方などにも勉強が必要
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回行っている 定期的に行っている ・ペアレントプログラムを行っている 	ペアレント・プログラムを行っているが人数が少ないので、保護者通園日に触りだけやってみるなど保護者に分かりやすい工夫が必要
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談・説明を行い承認を得ている ・契約の時に伝えている 	契約時に説明をしているが、一度に説明をしているので伝わらないときがある。職員が運営規定などを覚えるための勉強会が必要
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りや会議等の場を作り子どもや保護者の意見の尊重し、意向を確認している 	・親のニーズに寄り過ぎることがあるので子どもの成長段階をしっかりと把握して保護者に理解できるように伝える工夫が必要
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・サインを頂き同意を得ている 	・噛み砕いて説明はしているが、しっかりと理解してもらっているかが課題
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員の職員が適切に相談に応じ、必要な支援の提供および対策を図っている ・家族からの相談に応じて話合いや助言等を行っている ・相談があったら対応を行っている ・連絡帳で日々の様子や困りなどやりとり出来ていると思います。 ・相談がある時はすぐに話し合いを設けている。 	・応答があった時は対応しているが、不在の時もあり、早急に対応できない時があるのが課題

保護者への説明等	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親子参観やペアプログラム等、保護者同士の交流の場を持っている ・保護者通園日などの行事で交流の機会があり、保護者の交流も出来ている。 ・保護者通園日や行事を通して交流する機会を設けている ・参観日での交流や行事などで兄弟も参加できりるようしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児童の保護者で併用利用の利用者も多いので保護者会ができていなのが課題
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談があつた時は直ぐ管理者に連絡し、日程調整をして速やかに対応している ・管理者に報告・相談の上対応できていると思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応できる職員が不在の時が多く対応出来ない時があることが課題
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、園だよりを作成している ・お便りにて日頃の療育、行事の様子を発信している ・毎月つばみだよりを発行している 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、園だよりは作っているがSNSでの発信は無いのでそういった対応が課題。保護者だけが見られるようなアプリもあるが資金面から導入が難しい。
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室、相談員室以外は持ち出さないよう留意している ・個人情報を扱う際には十分気を付けている ・鍵付きのロッカーにいれている 	<ul style="list-style-type: none"> ・充分取り扱いに配慮している。これからも気を付けて行きたい。
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・文字や写真、絵カード等を利用して意思疎通を図っている ・1日の様子を担当保育士から発信している。又、相談員が対応する時もある ・お便りだけでなく電話やmailでも情報伝達している 	<ul style="list-style-type: none"> ・意思疎通や情報伝達の出来る視覚支援カードが活用されていない
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	5	<ul style="list-style-type: none"> ・パンのお礼に行くことはある ・クリスマス会、パネルシアター等外部の方を招いている ・クリスマス会にラッキートラベルさんが来てくれてありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民との交流が課題。
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルを作成し、月に1度避難訓練を行っている ・定期的に訓練をしているので非常災害の発生時は対応できると思う。 ・毎月している 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを作成して月に1度訓練を行っている。並行通園児が増えたので全員に行っていないことが課題
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を行っている ・救出、その他、不審者等行っているので想定内であれば対応できると思うが救出は難しいかも ・毎月避難訓練をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> BCPの策定。訓練を行っている。全職員がしっかりとイメージして行動できるようになることが必要。
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・周知している ・通園開始時または服薬解放時に薬の手帳のコピー等をさせてもらっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・てんかん、アレルギー、服薬は把握しているが予防接種は把握できていない。
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・情報は調理員に伝えられ対応している ・アレルギー検査の紙を提出すれば、アレルギーの対応ができる（現在はいない） 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理員が一人しかいないのでアレルギー除去作業が出来ない。
非常時等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・研修があり、災害時の対応は実践に結び付けそうで良かった。遊具の点検されていて安心 ・職員研修でBCPについて学び、安全管理を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理に必要な訓練や措置が十分にされているとは言えない
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・つぼみを利用する時にマニュアルを保護者に渡して説明をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・渡す書類が多すぎるので保護者が確認できているかが課題
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・療育会議等で検討している ・共有して検討しているので、対策として意見交換し、共通理解と支援出来ている。 ・すぐに再発防止の為に対策を考えて共有できている ・会議で職員間で検討出来ている ・会議の時に話し合い、共有している 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の検討はしているが共有出来ていないことがある。
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員を選出し、中心になって研修などをおこなっている ・職員研修をしている ・年三回ほど、職員全体で研修している 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修機会を設け周知している。職員側からの心理的虐待に繋がらないように、いきすぎた支援・感情的な言葉や話のトーン等の振り返りが必要だと感じる。

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13		・子どもの特性を把握し、十分に踏まえた上で支援の提供をし、課題や改善すべき点も日々大事だと感じる ・入園児に行っている ・保護者に説明している	・身体拘束には注意しているが現在は対象になる児童がいないため日々の研修などで情報収集をしている。
----	--	----	--	---	--